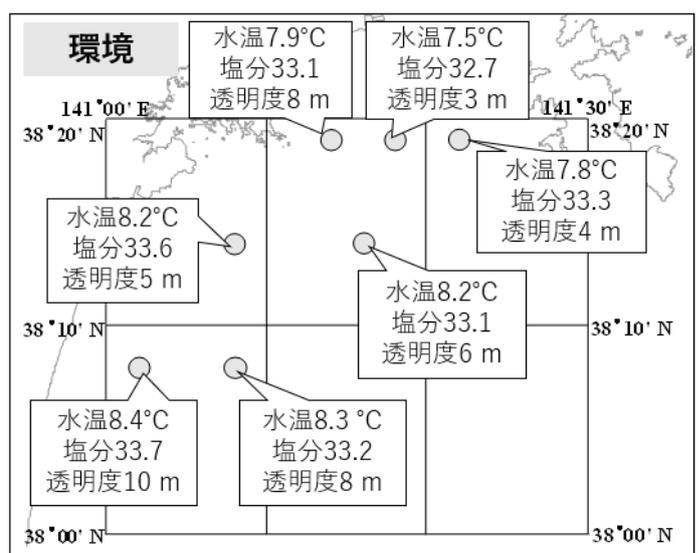
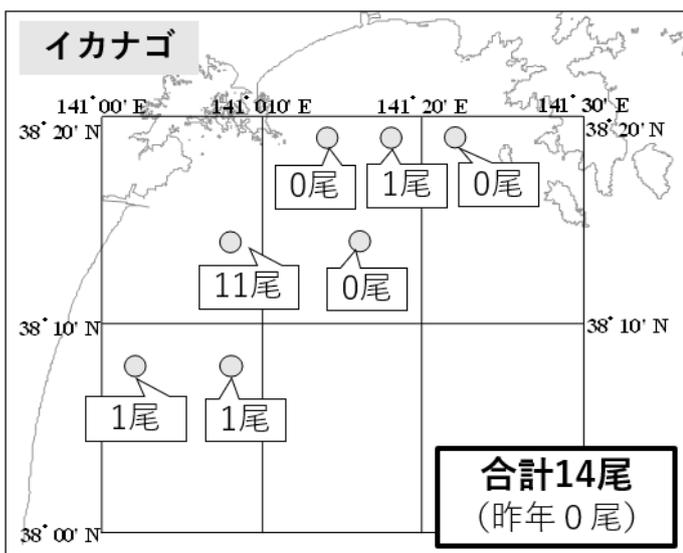




- ・令和8年3月18日に、仙台湾7定点でイカナゴ仔稚魚調査を行いました。
- ・仙台湾で14尾（昨年0尾）が採集され、引き続き不漁年の水準となっています。
- ・水温7.5~8.4℃、塩分32.7~33.7、透明度3~10mと水温が昨年よりやや低くなっております。
(昨年：水温8.2~10.2℃、塩分29.7~33.8、透明度7~15m)。
- ・採集されたイカナゴの平均体長は34.8mmで、他にマアナゴ葉形仔魚やアイナメ稚魚、カタクチイワシなどが採集されました。

【地点ごとのイカナゴ仔稚魚採集尾数と環境データ】

※調査方法：表中層曳網を10分間曳網。環境データのうち水温と塩分は表層のデータ。



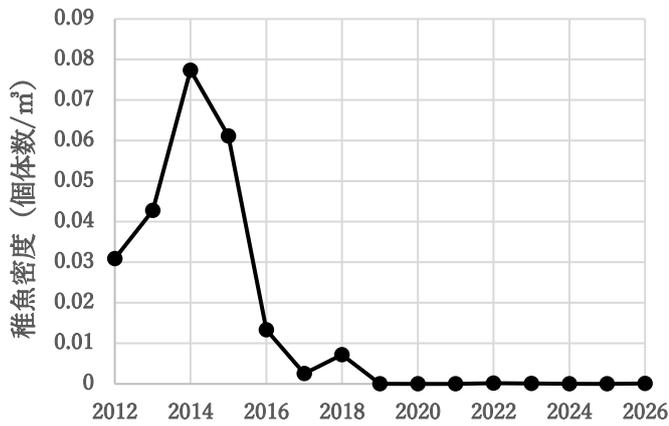


図1 稚魚密度の推移（3月の調査）

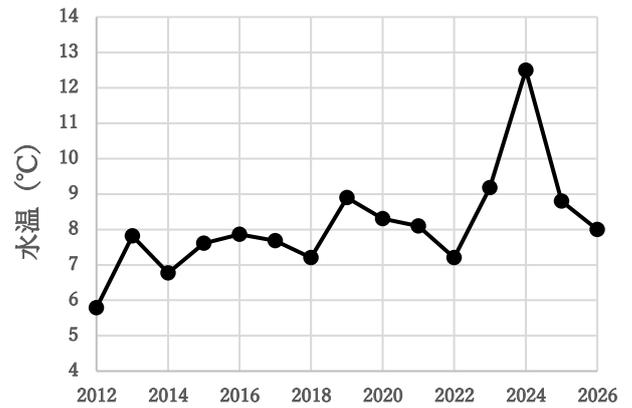


図2 表面水温の推移（3月の調査）

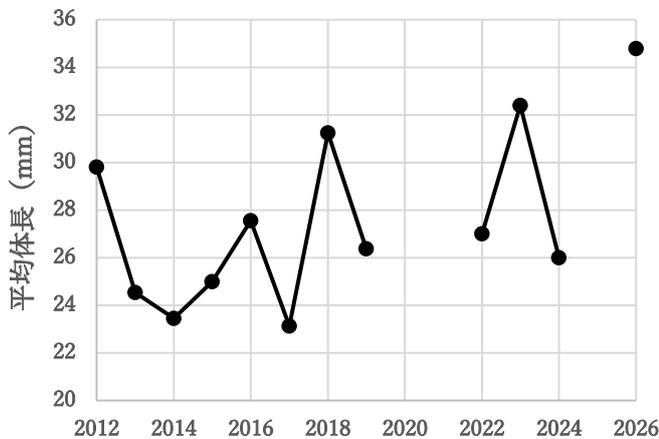


図3 平均体長の推移（3月の調査）

表 2026年と平年値の比較

	2026年	平年値 (過去10年平均)
表面水温(°C)	8.0	8.6
平均体長(mm)	34.8	27.7
仔魚密度(1.0×10^{-2} 個体/m³)	0.01	0.23

- ・ 稚魚密度は、不漁年の低い水準であった。
- ・ 表面水温は、平年と比べて0.6°C低くなっている。
- ・ 平均体長は平年値よりも7.1 mm大きく、震災後で最も大きかった。

海況情報
はこちら
をチェック



気象庁
日別海面水温



海況予測システム
FRA-ROMSII
(水産研究・教育機構提供)



JA FIC会員サービス
(漁業者のみ、要会員登録)

